

第2コムハウス通信

本日11月19日は、長野県が生んだ俳人、小林一茶の忌日です。(旧暦の日付なので、今の暦にあてはめると1月5日となるようですが)

野尻湖や黒姫山にほど近い柏原村(今の信濃町)に生まれた一茶ですが、幼少のころ継母にきつくあたられ関係が悪くなって病気を患ったこともあり、15歳で江戸に奉公に出されました。その後も江戸での貧しい暮らし、帰郷しての継母との確執など、多くの苦勞を経験したようです。


木枯らしや 地びたに暮るる 辻諷(つじうた)ひ

夕暮れ、木枯らしが吹きすさぶなかで、路地で謡いながら日銭を稼ぐ辻諷の姿を、一茶は低い目線から描き出しています。庶民の視点で、貧しいもの、弱いものに共感し寄り添う一茶の句に込められた思いは、今の世の中でも色あせないように感じます。

今週のえんて

11月11日に健康診断がありました。なかまのみなさんがんばって受けて無事終わりました。楽しく毎日すごすためにも、健康であることは大事ですね。

おもいやり



新しいお仕事を
猫のつめとぎの型ぬき
作業にチャレンジしています。
みんなていねいに上手に
できています。乞うご期待!



つくりだ

寒さがいよいよ本格的にひびきまけね
JA農福連携事業の畑作業&リンゴの
選果作業の依頼もどんどん増えてしま
した。何年前から取り組んできた自信
のあるお仕事です。みなさん毎日
イキイとがんばっています!!

さとみ
里見さんがおたくより数か月。
いぶきの部屋にかざられている写真に毎日
なかまがお茶をおそなえしてくれています。
里見さんは「時間いっばいもくもくと仕事を
している」そんな姿を思い出せぬ
ら毎日作業に励むいぶきグループです。

